



7/9が雨になったので一週間前の記録です。左回りで池を一周し始めたら大きなカモメが一羽、目に飛び込んで来ました。ヤマハギが咲き始め、夏のキノコが出始めています。池の北側にある木の柵には黒いキマワリが何匹も見られ、道端でサトジガバチが獲物を探しているのに出会いました。



**キマワリ**

黒から藍色や真鍮色に近いものまでいる。前足が長く背面が盛り上がる。幼虫は朽ち木を食べる。



**サトジガバチ(在来種)**

体長 20 ㎖ 強。狩りバチ(アナバチ)の一種で、腰が細く、腹部前方が橙色。触角を盛んに動かしながら子供に与えるイモムシを探し、地面に穴を掘って巣を設ける。



**ヒメジョン・アズチグモ**

ヒメジョンの花にはアブなどが花粉を食べによく来ます。花で待ち伏せをしているクモがいました。



**ネジバナ**

芝生などや道端でよく見かけます。桃色と白の優しい

配色で、周りの緑色によく映えます。花の付き方は右巻き、左巻き？ 実は両方あります。



**アメリカジガバチ**

東郷町のグランドのトイレに巣がありました。上のサトジガバチとそっくりですが、脚が黄色い、戦後にアメリカから来ました。クモを狩り泥で壺型の巣を作ります。



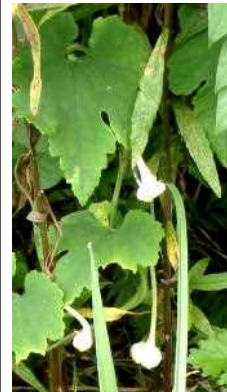
**オオシロカネグモ**

頭胸部は橙色、腹部は銀色の美しいクモ。コガタやチュウガタとつくクモもいます。



### クロオオアリ・巣口

直径 3 ~ 4 ミリくらいの巣穴を覗いたら、出ようか出まいか、迷いを見せ、体を動かすと小さな石ころを銜えて出てきました。



### カラスウリ

夏の夕景を彩る白い花です。日没後に縮れたフリルを付けた大きな花を咲かせます。

### オオツマキヘリカメムシ



体長 10 ミリ。ツマキは触角の先端が黄色いところから、ヘリは腹部の周りが縁側のように

広がっているところから、ついた名前でしょう。マダケの幹に何匹も集まっていました。



### キマダラセセリ

林のヘリなどで見られ、敏速に動くチョウ。セセリチョウの仲間は、後ろ翅は寝かせ、前羽を立てるといった変わった止まり方をします。幼虫はササヤススキの仲間を食べる。



### ナワシロイチゴ熟す

5 月から 6 月、苗を植える頃に薄紫色の控えめな花を咲かせます。苗代の



**植物** ヒメジヨウ、トウカイコモウセンゴケ、ネジバナ、カラスウリ、ワルナスビ、メリケンムグラ、ヘクソカズラ、ツユクサ、ヌマトラノオ、ナツズイセン、ハルシャギク、ヒヨドリバナ蕾、ナワシロイチゴ実、トウネズミモチ、ヤマハギ、セイヨウニンジンボク、アジサイ、ミヤマガマズミ実、シンジュ赤い実、ヤマハゼ実、**昆虫**

クロアゲハ、キアゲハ幼虫、ツバメシジミ、コムスジ、アサマイチモンジ、ヒカゲチョウ、ダイミョウセセリ、キマダラセセリ、スカシノメイガ、マイマイガ繭、キマワリ多数、アカハナカミキリ交尾、クズノチビタマムシ、セマダラコガネ、アオドウガネ、クロオオアリと巣、クロヤマアリ、アメリカジガバチ、サトジガバチ、ニイニイゼミ声・羽化直後の個体・羽化殻、マルカメムシと幼虫、オオツマキヘリカメムシ、ホシハラビロヘリカメムシ交尾、ホシササキリ幼虫、ショウリョウバッタ幼虫、ツチイナゴ幼虫、ナナフシ幼虫、カマキリ幼虫、

**クモ** ジョロウグモ幼体、サツノミダマシ幼体、ニホンヒメグモ、オオシロカネグモ、コシロカネグモ、アズチグモ、スズミグモ、**鳥・その他** 大型のカモメ、カラス2種、エナガ、メジロ、コジュケイ声、カワウ、コハクオナジマイマイ、イセノナミマイマイ、ミミズの一種、(虫こぶ)クズハトガリタマフシ、(茸)ベニイグチ、テングタケ、

**次回は、8月13日(木) 午前9時30分、水資源機構P前集合、参加費100円**